

すわみつえ通信

No.325 2024年7月29日

日本共産党鴻巣市議会議員
諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



身近な議員として もっと届けたい声がある 声をかたちに

議会運営の改革を

市民の声が届き、市民の生活改善につながる身近な議会の運営を行うことが議会に課せられていると思います。

特に議会での質疑の活性化と、市民に、より開かれた議会となるよう心掛けなければなりません。

鴻巣市議会の議会運営委員会は、7月22日(月)～23日(火)で新潟県柏崎市と長野県長野市の議会を行政視察してまいりましたのでご報告いたします。

柏崎市議会の「通年議会」 「予算決算常任委員会」



通年議会 ▶議会側が主体的・迅速に会議を開く◀

毎年5月1日から翌年4月30日までが会期で、定例会議(3・6・9・12月)および随時会議を開く期間を「会議期間」と呼びます。会議期間が終了すると、議会は「休会」し、次の会議を開く際は、「休会」状態から「再開」することになります。再開は議長の権限であるため、議会側が主体的かつ迅速に会議を開くことができるそうです。

予算決算常任委員会 ▶予算議案の分割付託を解消◀

予算議案と決算議案は予算決算常任委員会で、その他の議案(条例改定など)は各常任委員会で審査します。予算議案を所管常任委員会に分割付託することが解消されます。

長野市議会の「業務継続計画(BCP)」 「議会におけるハラスメント防止要綱」

業務継続計画(BCP)

大規模な災害が発生した場合においても議会としての役割を適正に果たしていくこと、また、議会として、長野市災害対策本部が応急活動等、災害対応に専念できる環境を整えていくことを目的に策定されました。

ハラスメント防止要綱

議員間、議員と職員、議員と市民という関係性の中で、いかなるハラスメントがあってはならないと、ハラスメント防止要綱が制定されました。



大間調整池増設事業住民説明会開催のお知らせ 市ホームページに掲載

西部第3排水区雨水整備事業における大間雨水調整池増設についての事業説明会が開催されます【7月31日(水)・8月3日(土)、田間宮生涯学習センター視聴覚室】。

説明パネル(図面)等の展示と併せて、担当者が質問に対して説明するとともに、意見等を伺う説明会形式です。開催時間中はいつでも誰でも入退場ができます。

2015年の台風15号、2017年の台風21号の際に大間雨水調整池周辺では道路冠水・床下浸水となりました。地域住民からは一刻も早い対策が求められています。

事業計画がどのようなになるのか聞いてみましょう。

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

【俳句コーナー】
若鮎はまだ10センチと
熊野より
瑠璃子

パレスチナ自治区ガザ 集団虐殺を支持しない 米議会周辺 数千人デモ



ワシントンの米議会周辺＝24日

【ワシントン】イスラエルのネタニヤフ首相が米連邦議会で演説した7月24日、米各地から数千人の市民が議会周辺に集まり、ガザへの軍事攻撃に抗議する集会を開きました。「ネタニヤフ氏をジェノサイド(集団殺害)の罪で逮捕しろ」「戦争犯罪人はお呼びでない」などと書かれた横断幕を掲げてデモ行進し、同氏を招待した議会も批判しました。

ユダヤ人や芸術家、政府職員、労働者、平和活動家など、信仰や立場の違いを超えて市民が参加。「パレスチナを解放しろ」の唱和がやみませんでした。

ノースカロライナ州から参加した教員は、「私が生まれたこの国は、戦争犯罪人を文字通り歓迎している」と批判。「いますぐ停戦を」と力を込め、「パレスチナの人々、赤ちゃんを殺しているイスラエルに(武器支援などで)税金を送るのをやめろ」と訴えました。他の参加者は、市民が求めているのはすべての人の自由と安全だと述べ、米議会は「国民の声を聞くべきだ」と語りました。(しんぶん赤旗 7月26日付)

世界最大規模 浮かび上がる能登の祭り 行田の田んぼアート 能登半島地震の復興支援で 石川県の高校書道部員がデザイン

埼玉県行田市小針の古代蓮の里東側にある水田で、田んぼアートが鮮やかに浮かび上がっている。能登半島地震の復興を支援するため、地域を代表する祭りの「キリコ祭り」と、石川県立能登高校書道部員の作品デザイン。葉の色が異なる4種の稲で描いた。

2008年に始まった田んぼアートは、今回で16作目。広さは約2.8ヘクタールで、世界最大規模を誇る。今年は6月8、9日

にボランティアら約820人が参加して、田植えを行った。苗は夏の日差しを受けて順調に成長。見頃は8月中旬までだが、稲が色づく10月中旬ごろまで変化を楽しめそうだという。(埼玉新聞 7月24日付)



澄んだ瞳

ちょうど60年前の正月、熊本県玉名市の寺に一人の「弁護士」が現れる。住職は教誨師[きょうかいし]を務めていた。活動を支援したいと名乗りでて、歓迎を受ける▼家族の中で、客人の正体に一人だけ気付いた。当時11歳の娘だった。交番に張られた指名手配の写真を見て、逃亡中の連続殺人犯・西口彰にそっくりだと言い出す。刑事ですら、「人違いでは」と疑ったという(現代殺人事件史)。偏見や先入観に染まっていない無垢[むく]な眼力が、人の真実を見抜いた。作家の佐木隆三さんが後に、直木賞を受けた「復讐[ふくしゅう]するは我[われ]にあり」で描く▼どうせ、小学生だからと侮ったのか。お隣宮城県の大河原町議会。見学に訪れた児童は、議場でゲームのツムツムをしていたり、寝ていたりする町議を見つけた。「議員で働く人としていいのか」と感想文で訴えた。渦中の人物は議員辞職を表明し、7月24日付で許可された。鋭い感性は、相手の心の底まで白日の下にさらしたようだ▼うだるような暑さで、心と体はくたくたに。ハンドルを握れば、イライラがつつい運転に表れてしまう時はないか。ルールやマナーの違反は禁物だ。学校は夏休み。澄んだ瞳が、あなたをじっと見つめている。 【福島民報 7月25日付】